

宗像市障害児通園施設「のぞみ園」支援プログラム

事業所における基本情報

1 事業所名

宗像市障害児通園施設「のぞみ園」

★通称：宗像市発達支援センター療育施設「のぞみ園」

★位置づけ：宗像市が実施する発達支援事業における療育部門として、社会福祉法人宗像市社会福祉協議会に業務委託して実施しているもの

2 作成年月日

令和7年3月1日

3 法人(事業所)理念

一人ひとりの「個」を大切にしながら、その子の「ありのまま」を受け止め、自身が持っているその子なりの「育つちから」を引き出し、「生きづらさの解消」と、将来の「自立」、「社会生活」の安定を目指し、利用者本位を基本姿勢としながら、『思い』をもって家族全体に向けた支援を行います。

4 支援方針

(1) 児童発達支援センターとして

「児童発達支援センター」としての役割・機能を果たすため、地域の関係機関（障がい福祉、母子保健、医療、子育て支援、教育、社会的擁護など、子どもの育ちや家庭の生活の支援に関わるさまざまな分野）との連携を進め、地域全体の障がい児支援の底上げを図るための中核的な役割を果たします。

★「児童発達支援センター」の4つの機能

- ① 幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援
- ② 地域の障害児通所支援事業所等との相互の助言・援助による支援の底上げ
- ③ 地域のインクルージョンの推進
- ④ 地域における子どもの発達相談の入り口

(2) 「相談」から「療育」、さらに「就学」へと繋ぐ連続かつ一貫した支援

発達相談～相談支援（利用計画）～療育サービス（個別支援計画）～就学支援

(3) 療育活動の考え方

「楽しく遊べた!」、「できた!」と感じる成功体験を大切に捉え、その遊びの繰り返しの中に個別課題に対する訓練的要素を取り入れた活動を行います。

また、その時々状況に応じた柔軟な対応を行います。

★「のぞみ園」における特徴的な活動

- イ) 親子通園
- ロ) グループと個別、あるいは併用による効果的な療育
- ハ) プール療育（宗像ユリックス アクアドームにて）
- ニ) 親子遊び
- ホ) 発達検査（のぞみ園利用児のみ）

5 営業時間

8：30～17：00（サービス提供時間 9：00～17：00）

6 送迎実施の有無

有（但し、予め送迎が必要と認められた利用者に限る。）

支援の内容

1 本人支援の内容と「5 領域」の関連性

以下に示す「5 領域」に係る支援のねらいと支援の内容は、「のぞみ園」における主だった活動から関連性を例示しているものであり、単独の活動が連続し、かつ重複しながら進められていくものである。

①健康・生活の領域

ねらい	<ul style="list-style-type: none">○健康状態の維持及び改善○生活習慣や生活リズムの形成○基本的な生活スキルの習得
支援内容	<ul style="list-style-type: none">○<u>登園、検温、排泄、整頓、シール張り、自由遊び</u>・自分の持ち物やマークを理解する・活動前のウォーミングアップ・目と手の協調動作を促す・トイレの空間に慣れる・着脱衣動作の経験をする・排泄の感覚を意識する・気持ちを切り替える

②運動・感覚の領域

ねらい	<ul style="list-style-type: none">○姿勢保持と運動・動作の基本的技能の向上○感覚の活用と特性への対応
-----	--

支援内容	<p>○<u>主活動（スイング、製作、ゲーム、クッキング、園外活動など）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな活動を楽しむ ・成功体験を増やす ・意欲や自信を持つ <p>○<u>作業療法士等による専門的な支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動発達、感覚、遊びなどのチェックやアドバイス ・運動発達、感覚統合能力の評価 ・発達に関する相談 ・動作、姿勢、道具などのチェックやアドバイス <p>○<u>プール療育（アクアドームにて）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水に慣れる ・浮力、水圧、水温、抵抗の「水の4つの特性」で身体を使用して全身運動を行う ・保護者やお友だちと水の中で楽しく遊び、スキンシップを図る
------	---

③認知・行動の領域

ねらい	<p>○認知面の特性の理解と対応</p> <p>○外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</p> <p>○行動障害への予防及び対応</p>
支援内容	<p>○<u>はじまりの会（あいさつ、名前呼び、歌、手遊び）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の始まりを意識する ・自分や友だちの名前に興味を持つ ・聴く、見る、模倣する力を育てる <p>○<u>とっちゃんかっちゃん・リトミック</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子のスキンシップをはかる ・四肢の協調性を高める ・脳（前頭葉）の活性化を促す ・聞く・見る経験をする ・身辺自立の力を身に着ける <p>○<u>クイズ・ワンポイントなど</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く・見る経験をする ・思考して答える経験をする ・挙手や注目される経験をする

	<p>○<u>主活動（スイング、製作、ゲーム、クッキング、園外活動など）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な活動を経験し、楽しむ（親子の場合も） ・成功体験を増やす ・意欲や自信を育てる ・お友だちと関わる経験をする
--	--

④言語・コミュニケーションの領域

ねらい	<p>○言語発達指導</p> <p>○コミュニケーション支援</p>
支援内容	<p>○<u>言語聴覚士による専門的な支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語理解の促進、表出手段の発見と獲得、構音訓練など ・構造化、代替コミュニケーションなど ・言語発達評価 ・言葉に関する相談 ・口腔機能のチェック、食事形態等のアドバイス

⑤人間関係・社会性の領域

ねらい	<p>○アタッチメント（愛着）の形成と安定</p> <p>○社会性の発達</p> <p>○自己の理解と行動の調整</p> <p>○仲間づくりと集団への参加</p>
支援内容	<p>○<u>はじまりの会（あいさつ、名前呼び、歌、手遊び）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の始まりを意識する ・自分やお友だちの名前に興味を持つ ・聴く、見る、模倣する力を育てる <p>○<u>とっちんかっちん・リトミック</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子のスキンシップ ・四肢の協調性を高める ・脳（前頭葉）の活性化を促す ・聴く・見る経験をする ・身辺自立の力を身につける <p>○<u>親子分離（玩具遊び、絵本、わらべ歌他）、帰りの会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と離れた空間で、スタッフやお友達と過ごす経験をする ・お友だちと共有する時間を過ごす

	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の終わりを予感する ・気持ちを切り替える経験をする ・帰りの挨拶を経験する
--	--

★グループ活動の流れ

〈午前グループ〉

- ・登園（検温、排泄、整頓、シール貼り、自由遊び）
- ・朝の会（あいさつ、名前呼び、お天気）
- ・とっちんかっちゃん、リトミック、運動、体操など
- ・排泄、手洗い
- ・親子活動（スイング遊び、製作遊び、クッキング、園外保育など）
- ・帰りの会&親子分離（玩具遊び、絵本、わらべ歌など）
- ・降園準備、降園

〈午後グループ〉

- ・登園（検温、排泄、整頓、シール貼り、自由遊び）
- ・ごあいさつ（あいさつ、名前呼び、歌、手遊び）
- ・クイズ、ワンポイントなど（モデルの提示、ルールの説明など）
- ・主活動（スイング、ゲーム、製作遊びなど）
- ・保護者の方へのフィードバック
- ・降園準備、降園

2 家族支援の内容

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○育ちの基盤である「家庭」における子どもとの関わり方について一緒に考える ○よりよい子育て環境を目指して、必要な支援を行う
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>親子通園</u> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で通園し、一緒に遊び、スキンシップをとりながら、遊び方や接し方を学んでもらう ・活動内容の振り返り（フィードバック）を行い、「良いところ」の発見につなげる ・子育ての工夫やヒントを知るためのサポートを行う ○<u>家族のさまざまな不安や負担軽減に配慮した支援を行う。</u>

3 移行支援の内容

ねらい	○ライフステージの切り替えを見据えた準備 ○他事業所あるいは保育所等との連携支援
支援内容	○ <u>就学に向けた支援</u> ・就学に向けた療育活動、発達検査、就学相談、サポートブック作成支援、学校への申し送りなど ○ <u>他事業所等との併用利用における連携</u> ・保育所等訪問支援 ・他事業所等と連携した支援

4 地域支援・地域連携の内容

ねらい	○子どもの育ちや家庭の生活の支援に関わる関係機関等と連携して、必要な支援を行う
支援内容	○ <u>保健、医療、福祉、教育、地域福祉等の関係機関・団体が繋がり、それぞれの専門性と広がり、連続性のある関わりを持つ</u> ・市町村（母子保健、子ども家庭センター、子ども育成、福祉等） ・医療機関（嘱託医による医療相談、医療機関への情報提供書等） ・自立支援協議会への参画 ・学校、保育所、幼稚園、他事業所等との連携した取り組み ・地域組織や市民活動団体グループ等との繋がりづくり

5 職員の質の向上に資する取組

職員の資質向上に関する研修計画を策定し、年間を通して以下のとおり実施する。
また、法令等により受講義務のある研修をはじめ、有益なものを見込まれる研修についても随時受講する。

■内部で実施する研修

- ・スタッフ会議・研修（月1回）
- ・ケース検討会
- ・法定研修（虐待防止、身体拘束適正化、感染症予防、業務継続計画 BCP 他）

■外部機関が開催する研修会等の受講

- ・障害福祉サービス事業所等支援員研修、苦情解決従事者研修、発達障害支援者研修、その他
- ・児童発達支援管理責任者養成研修、強度行動障害支援者養成研修、精神障害

者支援研修、発達検査講習会、その他

■協働して実施する研修

- ・地域の事業所等と協働して開催する児童発達支援勉強会（年6回）
- ・他事業所の視察研修

6 主な行事等

- 保護者勉強会（年5回）
- 年長児交流会（年1回）
- 訓練（火災、地震、防犯等/月1回）
- クリスマス会（グループ毎）
- 豆まき（グループ毎）
- 夏季プール（グループ毎）
- お楽しみ会（グループ毎）
- 卒園式（年長児グループ毎）
- その他